

# SUMMER MISSION 2017

～ごみのゆくえを調査せよ！～



8月17日と8月29日の2回にわたり、NPO法人ゼロ・ウェイトアカデミー主催の夏休み子ども向けごみ体験企画として「SUMMER MISSION 2017—ごみのゆくえを調査せよ！—」を開催いたしました。これは子どもたちにゼロ・ウェイトについてより一層関心を持ってもらうべく企画した物で、学童保育「あすなろ」を利用している町内の小学生をはじめ、町外からも小学生が参加してくれました。

## MISSION 1 「ごみ」を「使えるものに」変えよ！

2017年8月17日（木）実施

第1回は『「ごみ」を「使えるものに」変えよ！』がテーマ。「ごみて何だろう？」について考えるワークショップやドキュメンタリー映像を上映し、その後グループに分かれてごみ分別対決や紙すきに挑戦しました。

分別対決では2分別の自治体や15種類ほどの自治体、そして45種類の分別をしている上勝町など様々な地域の分別を体験してもらいましたが、興味深かったのは子どもたちが「上勝町の分別が一番ラクで分けやすい。」と言っていたこと。細かく分かれている方が正しく楽に分けることができるという子どもたちの指摘は新鮮でした。



ちゃんと分別ができているかチェック！



「このごみはどこに分別すればいいのかな？」



紙漉き体験 パルプから葉書きを作ろう！



「ごみ」は自分が決めるんだ！

## MISSION 2 「ごみ」が生まれ変わる瞬間を目撃せよ！

2017年8月29日（火）実施

第2回は家から出たごみの行方を探るべく、徳島県阿南市内のガラス瓶と紙のリサイクル工場を見学しました。

ガラス瓶のリサイクル工場では新しいガラス瓶を作るのに素材の8~9割はリサイクルされたガラス瓶から作られていることに驚き、紙のリサイクル工場でも第1回目で体験した紙漉きが大きな機械で行われる様を見て感心していました。



ガラス瓶のリサイクル工場見学  
-徳島資源リサイクルセンター-



紙のリサイクル工場見学  
-株式会社 日誠産業-

全体を通して子どもたちは分別の重要性や、ごみは生き物の命を奪ったり自然破壊に繋がることを体験から学んだようでした。今後も今回のような体験からごみ問題やゼロ・ウェイストへの関心を高めてもらえる機会を設けていければと思います。